

子どもを守る1ピースになるために

How we can prevent, recognize, and react responsibly to child abuse

◆ 虐待早期発見のポイント

◆ 子どもが虐待を開示したときの対応

◆ 質的・量的研究からみえた医療/保健－福祉－司法－教育/保育の多機関連携のあり方と情報通信技術（ICT）の活用



2016年

3月16日 水
18:00 - 19:30

宮崎大学清武キャンパス

総合教育研究棟1F・プレゼンテーションホール

* 参加無料・学外の方もご参加いただけます。

お車で来場される場合は、駐車券の無料処理ができますので忘れずにお持ち下さい。



講師：Dr. Kota Takaoka

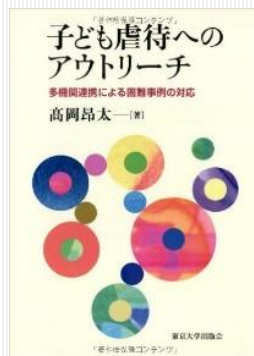
The University of British Columbia, Canada

<プロフィール>

東京大学大学院教育学研究科修了（臨床心理士・司法面接士・教育学博士）

日本学術振興会（学振）特別研究員DC2（東京大）、千葉大学子どもこころの発達研究センター・特任助教、学振特別研究員PD（千葉大）を経て、現在、学振海外特別研究員としてThe University of British Columbiaに留学中。

これまでに「Grounded Theory Approachを用いたアウトリーチ・多機関連携・当事者研究」「虐待対応における画像分析データを用いた意思決定サポートシステム（ICT）の開発研究」などに従事。臨床では、認知行動療法を中心とした「子どもと養育者に関わる臨床心理学的心理面接」を実践。子どもと養育者に関わる支援者&一般市民向け研修での講師経験や書籍も多数。



問い合わせ窓口

主 催：宮崎大学テニユアトラック推進機構

TEL 58-7675（内線7675）

共 催：宮崎大学大学院看護学研究科・医学部看護学科
宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科FD委員会

世話人：テニユアトラック推進機構・看護学系 吉永尚紀

E-mail: naoki-y@med.miyazaki-u.ac.jp